

陳情第180号	受理年月日	令和6年2月13日
付託委員会	建設建築委員会	
件名	門司港鉄道遺構の経済効果調査並びに市民意見の再聴取について	
要旨	<p>令和6年1月25日、武内市長は、記者会見で門司港鉄道遺構を一部移築保存する方針を発表した。しかし、複数の学会や市民団体からは、遺構全体の現地保存を求める要望書が武内市長に提出されている。</p> <p>今般、発掘された遺構は、門司区と北九州市の歴史にとって貴重な遺構である以上に門司港レトロ地区と市の観光にとって、新たな大きな目玉、金の卵として活用し発展できるものであり、その市外からの観光集客力は極めて強く経済効果が非常に大きいと期待できる。経済効果調査を行う必要がある。</p> <p>市は、令和4年3月1日から同年3月31日まで、門司港地域複合公共施設整備事業に関して事業概要(公共事業事前評価調書)及び市の対応方針(案)に対する市民意見募集を実施した。しかし、これを実施した時点では、まだ遺構の存在が発見されていなかったから、市民は、遺構の存在とその経済効果を全く知らない状況で意見を出しており、現在の市民意見を正しく反映したものとは言えない。</p> <p>従って、市は、遺構の一部移築保存方針を一旦凍結し、経済効果調査結果を公表した後に再度、市民意見募集を実施して、市民が遺構の実体と経済効果をよく認識した上での正確な市民意見を再聴取すべきである。</p>	